



第1回学校評価アンケート結果とその対策について

第1回学校評価アンケートではご協力ありがとうございました。アンケートの集計結果をお知らせするとともに、本校の課題や取り組みの改善点について検討しましたのでご報告いたします。

集計結果の詳細につきましては、裏面に一覧表を掲載しましたので、そちらをご覧ください。以下では、80%の目標に達していない項目のうち重要なものについて、「学校の具体的な方策」と「家庭へのお願い」を記述しますので、ご協力をお願いします（全体的な傾向は、前年度とほぼ同じです）。なお、保護者の自由記述に関しては、後日回答と共にお知らせします。あずま中学校での課題は以下の5点です。

<あずま中学校の課題>

- ①家庭学習時間の増加と家庭での自主的な学習態度・学習への粘り強い取り組み姿勢の育成（生徒設問10・12、保護者設問3・4）
- ②メール・テレビ・ゲーム時間のけじめ（生徒設問13、保護者設問5）
- ③進路への意欲（生徒設問23）
- ④学校への相談のしやすさ（保護者設問2）
- ⑤家庭での手伝いや家族の一員としての役割の増加（保護者設問10）

学校の具体的な方策

◆家庭学習時間の増加と家庭での自主的な学習態度・学習への粘り強い取り組み姿勢の育成のために

あずま中学校では以下の取り組みからこの改善を行っていきます。

- ①各教科で計画的に宿題を課すとともに、自主学習と家読（うちどく）をすすめることで、家庭学習時間を増加させる（原則宿題は毎日あります）。
- ②担任と教科担当で提出物の継続指導を行う（課題提出指導が厳しく行われるのはこのためです）。
- ③学習の手引きをあずまライフに載せ、活用するよう指導することで、学習習慣づくりを徹底する。
- ④授業の中で、最後までやり遂げる心（向上心や勤勉・努力、自主・自律等）やさらに高みを目指す意志（理想の実現や強い意志等）、未知のものへの好奇心（個性伸長等）、仲間とともに協力して学習を深める姿勢（集団生活の向上や謙虚・寛容、思いやり等）を伸長させる。
- ⑤学習支援通信「step by step」を発行し、学習意欲の向上と学習への工夫（方法）を紹介していく。

◆将来の夢や希望を考えられる生徒を育てるために

進路学習の系統性を高めて指導の充実を図るとともに、将来の夢や希望についての教育相談「夢相談」を実施します。また、将来の夢や希望と普段の生活を結びつけて意識させ、進路学習や三者面談、「夢相談」の機会に個別に指導します。

◆連絡や相談がしやすい学校にするために

積極的に電話連絡や家庭訪問等を実施して家庭と連絡を取り、丁寧で親身な対応を行うことにより、保護者や生徒との信頼関係を築きます。また、保護者の要望や意見を汲み取って、連絡や相談がしやすいように学校の態勢を改善するとともに、効果的な連絡や対応の仕方を研修します。たとえ些細なことでも、連絡や相談をすることに抵抗を感じる部分がありましたら、遠慮なく学校に伝えていただくとありがたいです。

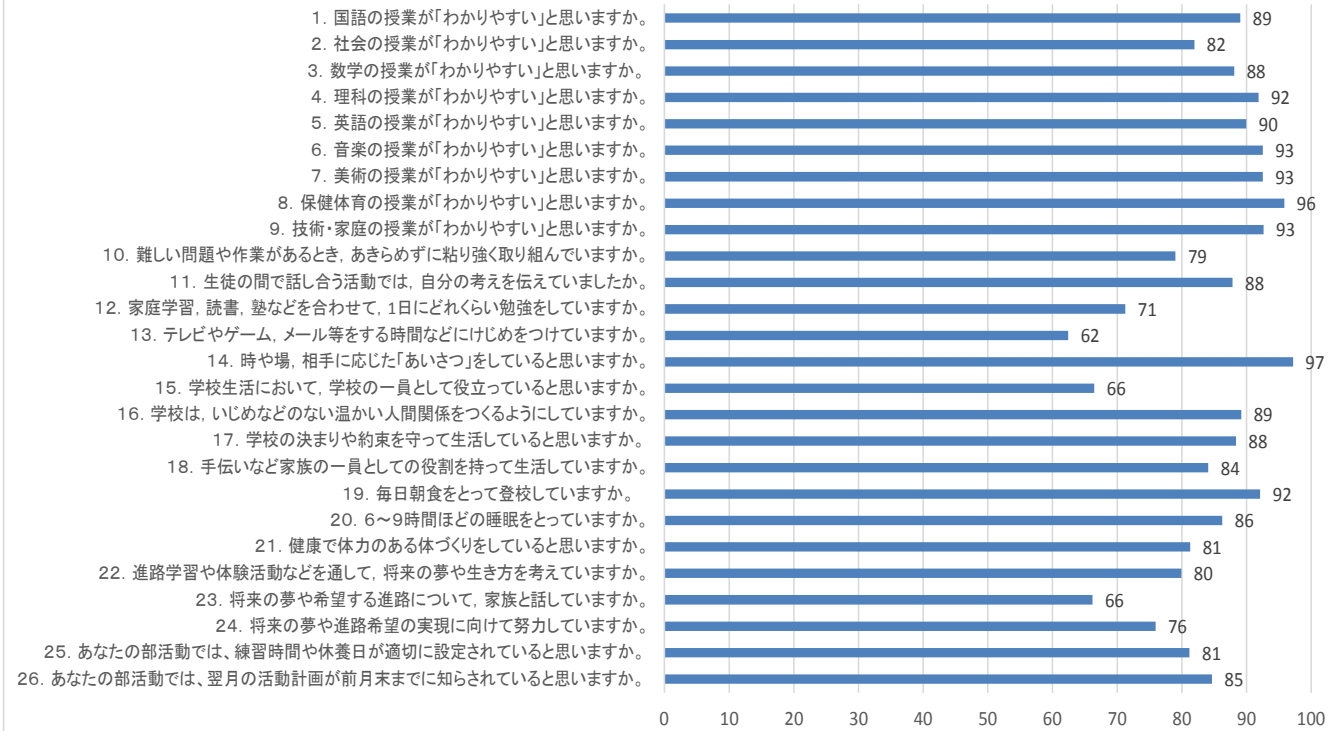
家庭へのお願い

○テレビやゲーム、メール等のけじめをつけさせましょう。

仙台市教育委員会と東北大学による「学習意欲の科学研究に関するプロジェクト」は「スマホや携帯電話を使用すると、睡眠時間や家庭学習時間には関係なく、使用時間に応じて学力が低下する」とする調査結果を発表しました。チームによると家でちゃんと勉強している生徒でも、スマホを使う時間が長ければ、家での勉強時間が少ない生徒よりも学力が下がっている傾向が統計的に表れたといい、「スマホの使用時間が長くなるほど生徒たちのなかから、学校で習得した学習内容が消えてなくなった」と分析しています。

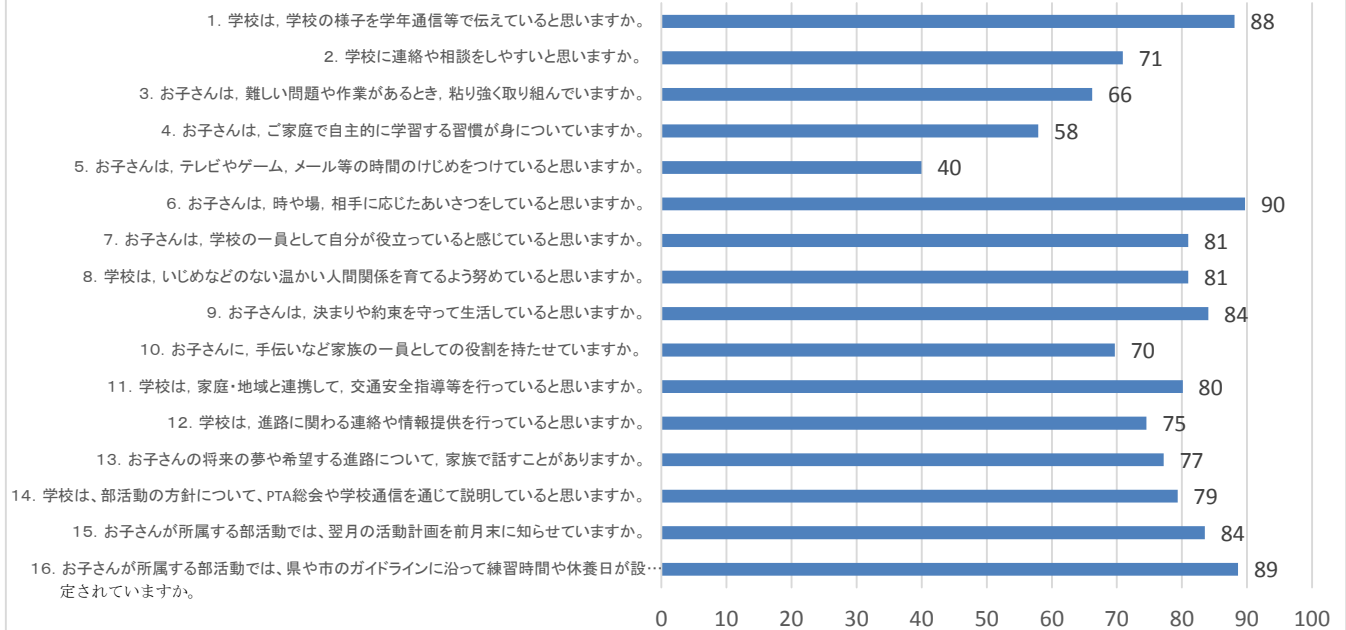
スマホや携帯電話について今一度ご家庭で話し合ってみましょう。特にお子さんが使用している場合は、平日1時間未満の使用が適切です。テレビやゲームも同様と考えられます。時間のけじめをつけて生活するよう、ご指導いただくとありがたいです。

生徒アンケート集計結果



※グラフは、設問ごとにA(そう思う)とB(大体そう思う)を合計した割合となっています。12.家庭学習の時間については1日1時間以上以上(塾や読書を含む)、19.朝食については週5日～毎日の割合となります。

保護者アンケート集計結果



※グラフは、設問ごとにA(そう思う)とB(大体そう思う)を合計した割合となっています。本校では、AとBの合計がおおむね80%以上となることを目標としています。